

サイクルツーリズム推進協議会進捗状況及び今後の取組内容（更新箇所：赤字）

資料4

観点	課題（現状で不足している項目）	実施内容（令和2年3月末時点）	今後の取組内容（案）	実施主体（案）
1.地域ルート設定	・沿岸部の基幹ルートと内陸部にアクセスする地域ルートの設定	・地域ルートの候補検討	・地域部会を立上げ具体的なルートを検討	地域部会
2.走行環境	・自転車通行空間の整備	・整備マニュアル（案）の作成	・沿道状況、自動車交通量、横断構成の状況に応じて整備 ・復興箇所等の情報把握	道路管理者等
	・ドライバーに対する自転車通行への注意喚起 ・トンネル、橋梁部、急勾配箇所への注意喚起を促す案内表示		・整備マニュアル（案）に基づいた注意看板や路面表示の整備	道路管理者等
	・自賠責保険等の加入を義務（努力義務含む）付け	・保険加入の規定を含む条例制定の検討	・「自転車安全利用条例」制定（令和2年7月13日公布） ・令和3年4月1日施行（保険義務付け、ヘルメット着用の努力義務付け）	宮城県
	・サイクリストから走行上問題箇所（陥没・突起・草や落ち葉等）の情報収集と、早期対応のための仕組みづくり	—————	・連絡先（窓口一本化）を記載したルートマップ作成 ・該当道路管理者のルートの維持管理（早期補修）	事務局 道路管理者等
	・ルート全線で統一された仕様の設定（設置間隔、分岐部） ・ルート名・経路・起終点及び主要な目的地までの距離の表示と施設への案内	・マニュアル（案）の作成	・整備マニュアル（案）に基づいた案内看板・路面表示の整備 ・インバウンド向けの多言語表記・ピクトグラム表示	道路管理者等
3.受入環境	・主要アクセスポイント（空港・鉄道駅等）における必要な機能（レンタサイクル、観光情報提供等）の整備	・整備内容、手法の検討 ・候補施設にアンケート調査を実施し、協力の意向等を確認	・ゲートウェイ管理者又は国・県・関係市町等が連携し整備	ゲートウェイ国・県・関係市町等
	・概ね20kmごとに、サイクリストが必要とする機能（トイレ・工具・休憩スペース等）を備えたサイクルステーションを整備	・候補施設にアンケート調査を実施し、協力の意向等を確認	・サイクルステーション施設を抽出し、施設を整備	サイクルステーション（事務局等）
	・代替（あるいは迂回）移動手段、拠点までの回送サービスとしてサイクルトレイン、サイクルバス、サイクルタクシーを設定	—————	・アンケート等により協力の意向等を確認し、移動や回送サービスができる交通手段を設定	交通事業者（事務局等）
	・概ね60kmごとに、サイクリストが必要な機能（室内預かり保管等）等を備えた宿泊施設を設定	・候補施設にアンケート調査を実施し、協力の意向等を確認	・宿泊施設を設定	宿泊施設（事務局等）
	・トラブル発生時の部品販売と修理サービス等の提供	・サイクルショップにアンケート調査を実施し、協力の意向等を確認	・サイクルショップ施設を設定	サイクルショップ（事務局等）
	・緊急時の連絡先やサポート可能な施設の情報を提供	—————	・ホームページの管理、運営方針の検討	事務局等
4.情報発信	・ホームページ、SNS、パンフレット等での情報発信（インバウンドに対応した多言語含む） ・サイクリストが扱いやすい情報媒体による情報発信	・ロゴマーク（案）作成 ・チラシ（案）作成 ・ルートマップの検討	・ホームページ、SNS、パンフレット作成（インバウンドに対応した多言語含む） ・持ち運びしやすく水濡れ等に強いルートマップ作成	国・県・関係市町等

○取組内容・今後の進め方について

H31.1 第1回協議会

協議会設立、取り組み（モデルルート設定等について意見交換）、今後の進め方



R1.12 第2回協議会

モデルルート及び名称の決定

（仮）震災復興・伝承みやぎルートの課題と具体的な取組内容（案）について

今後の進め方（案）



R2.8 第3回協議会（今回）

宮城サイクルツーリズムの
ロゴマーク（案）決定

宮城サイクルツーリズム推進協議会
の取組チラシ（案）決定

整備マニュアル（案）の決定

進捗状況、今後の取組内容の報告



R2.8以降 第4回協議会（年度内予定）

ホームページ開設の準備

地域部会の立ち上げ

進捗状況、今後の取組内容の報告



R3.4以降 第5回協議会

ホームページ開設状況の報告

地域部会取組報告

進捗状況、今後の取組内容の報告



R●年度

ナショナルルート認定